

ペンテコステ礼拝

2025.6.8(日)

10:30 A M (約1時間)

※聖餐式があります。



五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。

使徒言行録2章1〜3節

●● 恵みのペンテコステに備えましょう ◆◆

キリスト教の最大の祝祭はクリスマス(降誕祭)、イースター(復活祭)、ペンテコステ(聖霊降臨祭)の3つです。「ペンテコステ」とはギリシャ語で「50番目」という意味で、イースターから50日目に祝われます。その背景にはユダヤの暦による過越祭から50日目に祝われる「五旬祭」・「七週祭」があります(申命記16:9以下参照)。

新約聖書の使徒言行録2章によりますと「聖霊降臨」という出来事が「五旬祭」の日に関わっていると記録されています。それ以後、キリスト教はユダヤの祝祭の意味を越え、新しく聖霊降臨祭という意義付けで「五旬祭」を重視するようになりました。

聖霊によって生み出された教会(ペンテコステは教会の誕生日とも言われている)、そして、地の果てにまで遣わされていく宣教の業が聖霊の働きによって支えられていることを今年も礼拝を通して改めて味わいつつ共に喜び祝うことが出来れば幸いです。聖書に記されているペンテコステの出来事からこの祝祭の典礼色は赤です。炎のように聖霊が一人ひとりの上に降ることをイメージして赤いものを身に付けて礼拝にあずかりましょう。聖霊なる神が恐れと闇の中にある全ての人を包み込み、平和を切に待ち望みつつ歩む私たちを力づけてくださいます。

聖霊の働きに感謝しつつペンテコステに備えましょう。